

CASBEE広島 2013年追補版Ver.2(BPI/BEI対応)
アパホテル 広島駅前大橋

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2013年追補版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(h

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.6
Q1 室内環境			0.40					3.7
1 音環境		4.6	0.15	3.6	1.00			3.9
1.1 騒音		5.0	0.40	4.0	0.40			
1 室内騒音レベル	サッシはT-2使用	5.0	1.00	4.0	1.00			
1.2 遮音		5.0	0.40	3.5	0.40			
1 開口部遮音性能	T-2使用	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能				4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				2.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				2.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		3.3	0.35	3.5	1.00			3.5
2.1 室温制御		3.7	0.50	4.1	0.50			
1 室温	設定温度夏期24°、冬期24度	5.0	0.38	5.0	0.57			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.3	1.00			3.2
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	共用部:10.4 住居部:2.7	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		1.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		4.7	0.25	4.3	1.00			4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	シックハウス対応(F☆☆☆☆)製品の使用	5.0	1.00	5.0	1.00			
4.2 換気		4.0	0.30	3.3	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能				4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	給気口から十分な距離を確保	5.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御	ビルの共用部分は禁煙	5.0	1.00					
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		4.0	0.40	2.8	1.00			3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60			
1 広さ・収納性				1.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.50			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.0	0.40			
1 広さ感・景観				3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画	内観パースによる計画	5.0	1.00	5.0	0.50			
1.3 維持管理		4.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	各所に点検口を設置	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	メンテナンス用ハッチ等の設置	4.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.3	0.31					3.3
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル圧着工法	5.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンスタダク使用	4.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	C以上を使用	4.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.6	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具の設置、受水槽の分割	4.0	0.20		-	
3	電気設備	非常用発電設備及び電源設備を地下に設置しない	4.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			4.2	0.29	2.4	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					1.8	0.50	
1	階高のゆとり				1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			4.2	1.00		-	
1	空調配管の更新性	必要な箇所に点検口を設置	4.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	必要な箇所に点検口を設置	4.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	必要な箇所に点検口を設置	5.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	必要な箇所に点検口を設置	5.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性	マシンハッチ等を設置	5.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		前面空地を確保し、街路樹を配置	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30		-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	広くピロティーを取り、地域に開放出来る空間づくり	5.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30		-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	連結送水管BOXを太陽光システム対応型としている。	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		BEIでの評価値による。	4.4	0.30		-	4.4
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	4.4				
		集合住宅の評価					
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.8	0.15		-	3.8
1.1	節水	節水型器具の設置	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用タンクの設置	4.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.2	0.63		-	4.2
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	既存地下躯体を連壁として利用	5.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント-場所打ち杭	5.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	磁器質タイル-床、壁 壁紙-壁、天井 タイルカーペット	5.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-	
1	消火剤	不活性ガス消火剤(二酸化炭素消火設備)を使用	4.0	0.33		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2概算値が一般的は建物(参照値)に対して	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	十分な駐車台数の確保	5.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	空間的な整備	4.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.7	0.40		-	
1	風害の抑制	気流シミュレーションの検討	4.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	